

今回整理における「○最低限必要な項目」について、XML移行対象取引（予定）の決済電文上に代替可能と思われる項目が存在するため、EDI情報欄への記載不要と考えられる項目が存在します。

これらの項目について、金融EDI情報欄への記載を不要と整理することで、支払企業における入力作業の省力化（二重入力の回避）や、会計システム・ネットワーク等への負荷軽減が図れるものと思われます。

今回整理案とXML移行対象取引上の項目名（代替候補案）を下表に示します。

【今回整理案とXML移行対象取引上の項目名（代替項目案）】

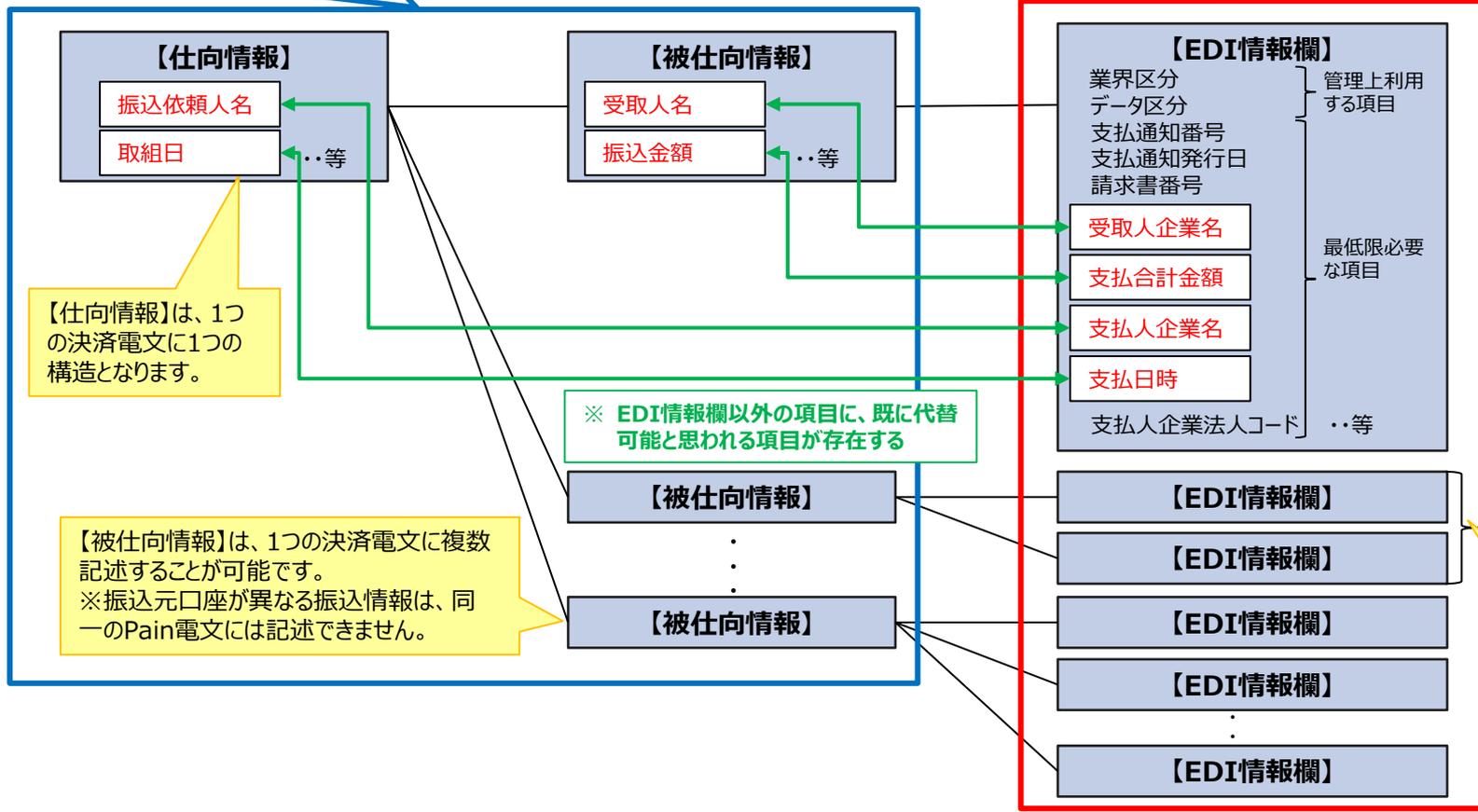
	○最低限必要な項目 (今回整理案)	XML電文移行対象取引（代替候補案）		
		総合振込	振込入金通知	入出金取引明細
項目名	受取人企業名	受取人名	口座名	口座名
	支払人企業名	振込依頼人名	振込依頼人名	振込依頼人名
	支払合計金額	振込金額	金額	取引金額
	支払日時	取組日	勘定日、起算日	勘定日、預入・払出日

※ 「○IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目」および「○利用可能とすべき項目」については、代替可能な項目の候補は存在しませんでした。

決済電文の構造は、下記のような階層構造となっています（総合振込（Pain）の例）。
 2014年度に実施した共同実証においては、「○最低限必要な項目」について、EDI情報欄以外の決済電文（仕向情報、被仕向情報）上に、既に代替可能と思われる項目がいくつか存在していました。

EDI情報欄以外の決済電文内容（総合振込（全銀フォーマット）とのマッピング等）は、今後銀行界で検討が進められるものと存じております。

EDI情報欄に設定する商流情報の内容が本検討会議の検討対象

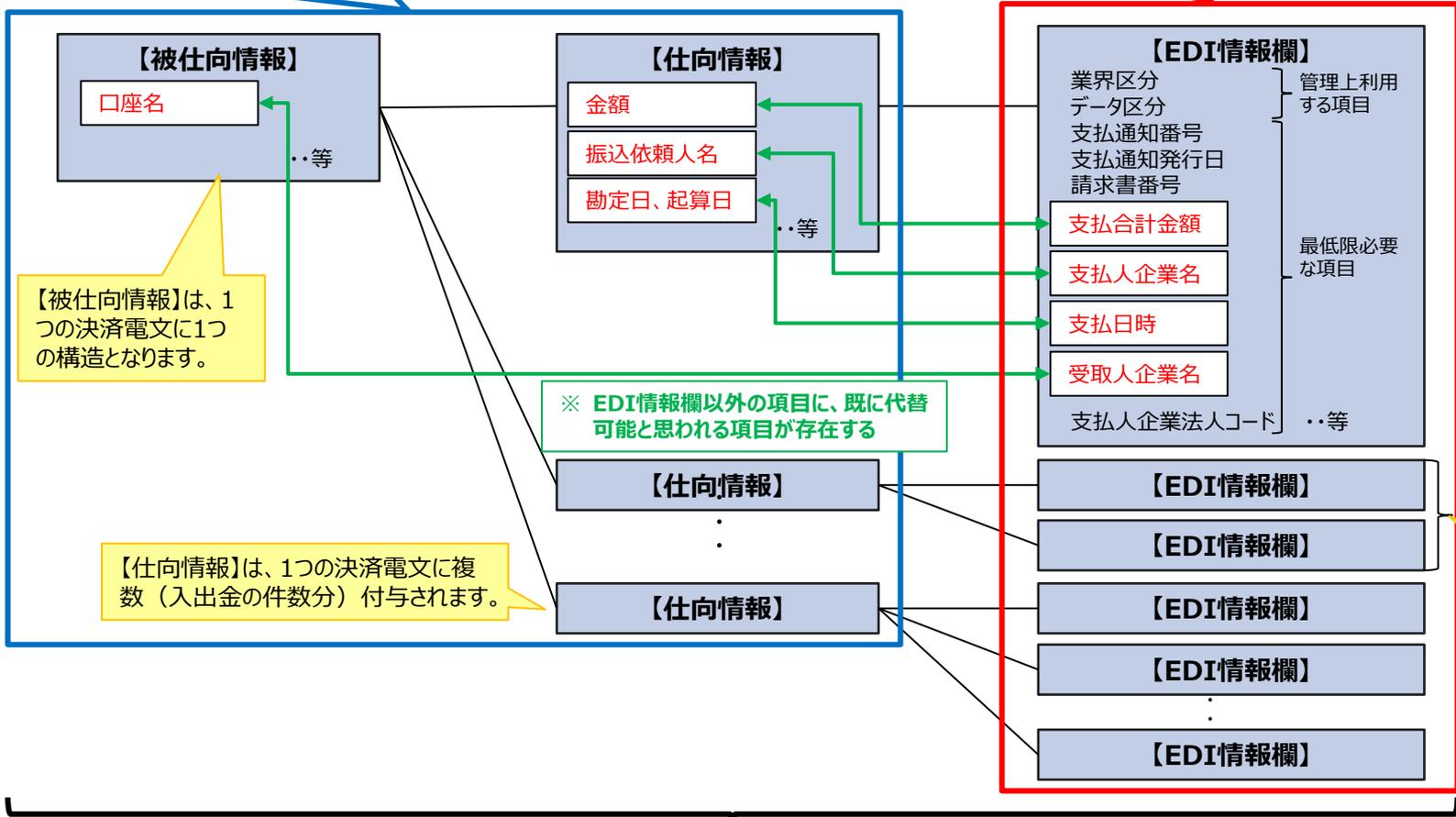


これら全体で1つの決済電文（総合振込／ISO20022_Pain）となります。

決済電文の構造は、下記のような階層構造となっています（振入金通知（Camt）の例）。
 2014年度に実施した共同実証においては、「○最低限必要な項目」について、EDI情報欄以外の決済電文（被仕向情報、仕向情報）上に、既に代替可能と思われる項目がいくつか存在していました。

EDI情報欄以外の決済電文内容（総合振込（全銀フォーマット）とのマッピング等）は、今後銀行界で検討が進められるものと存じております。

EDI情報欄に設定する商流情報の内容が本検討会議の検討対象

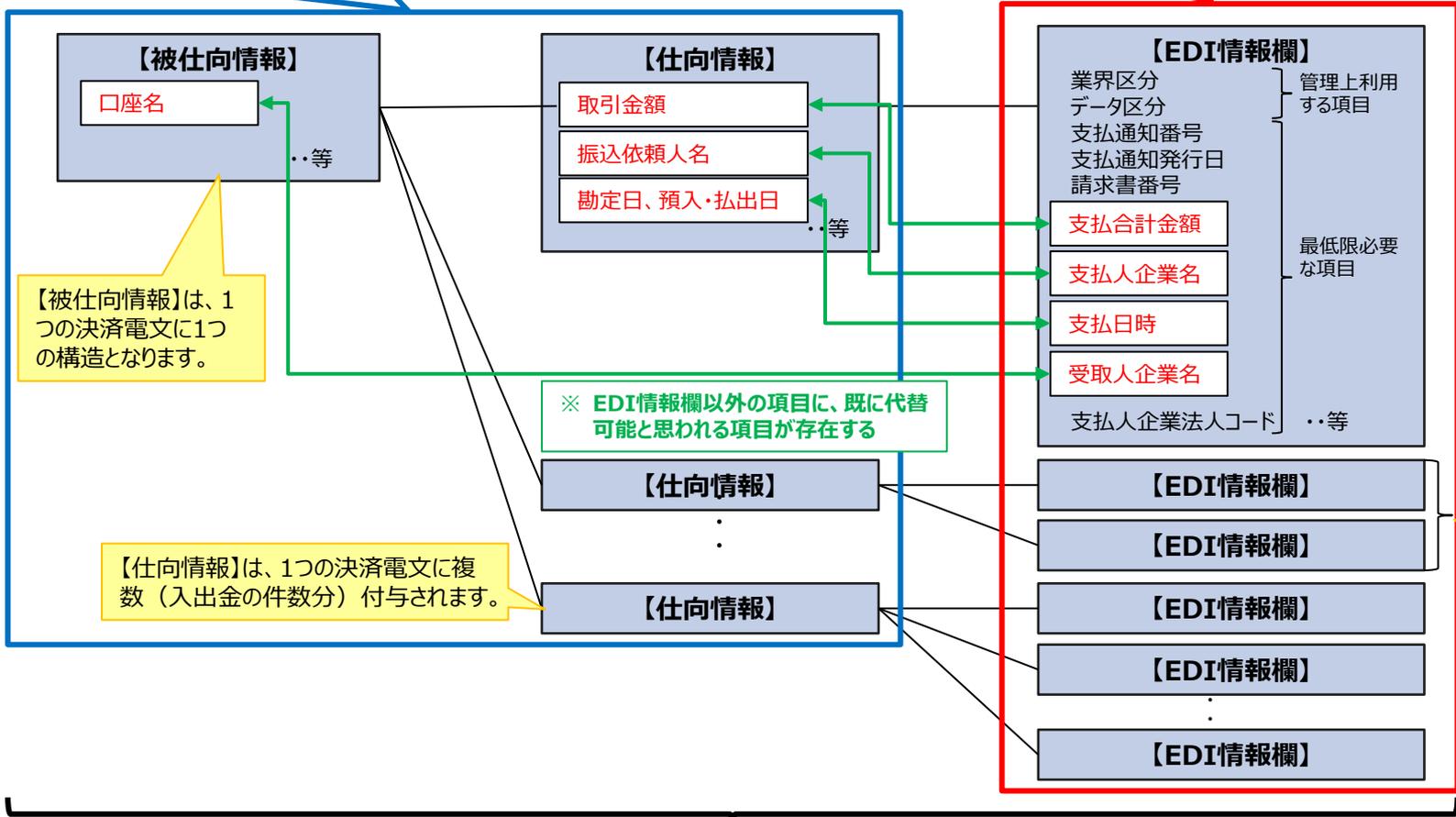


これら全体で1つの決済電文（振入金通知／ISO20022_Camt）となります。

決済電文の構造は、下記のような階層構造となっています（入出金取引明細（Camt）の例）。
 2014年度に実施した共同実証に基く想定では、「○最低限必要な項目」について、EDI情報欄以外の決済電文（被仕向情報、仕向情報）上に、既に代替可能と思われる項目がいくつか存在します。

EDI情報欄以外の決済電文内容（総合振込（全銀フォーマット）とのマッピング等）は、今後銀行界で検討が進められるものと存じております。

EDI情報欄に設定する商流情報の内容が本検討会議の検討対象



【被仕向情報】は、1つの決済電文に1つの構造となります。

【仕向情報】は、1つの決済電文に複数（入出金の件数分）付与されます。

※ EDI情報欄以外の項目に、既に代替可能と思われる項目が存在する

【EDI情報欄】は、1つの【仕向情報】に対して支払企業が設定した件数分付与されます。

これら全体で1つの決済電文（入出金取引明細／ISO20022_Camt）となります。

代替候補案の採否に関する論点を以下に示しますので、ご検討をお願いいたします。

【代替候補案の採否に関する論点】

1. 受取人企業名

受取企業は、入金される口座番号に対応した「口座名」を取得可能です。受取企業において、当該情報により「受取人企業名」の代替が可能であれば、EDI情報欄への「受取人企業名」の設定は不要とされます。

2. 支払人企業名

受取企業は、「振込依頼人名」を取得可能です。また「○最低限必要な項目」として「支払人企業法人コード」を取得可能とした場合と合わせて、受取企業において、当該情報により「支払人企業名」の代替が可能であれば、EDI情報欄への「支払人企業名」の設定は不要とされます。

3. 支払合計金額

受取企業は、「金額」、「取引金額」を取得可能です。受取企業において、当該情報により「支払合計金額」の代替が可能であれば、EDI情報欄への「支払合計金額」の設定は不要とされます。

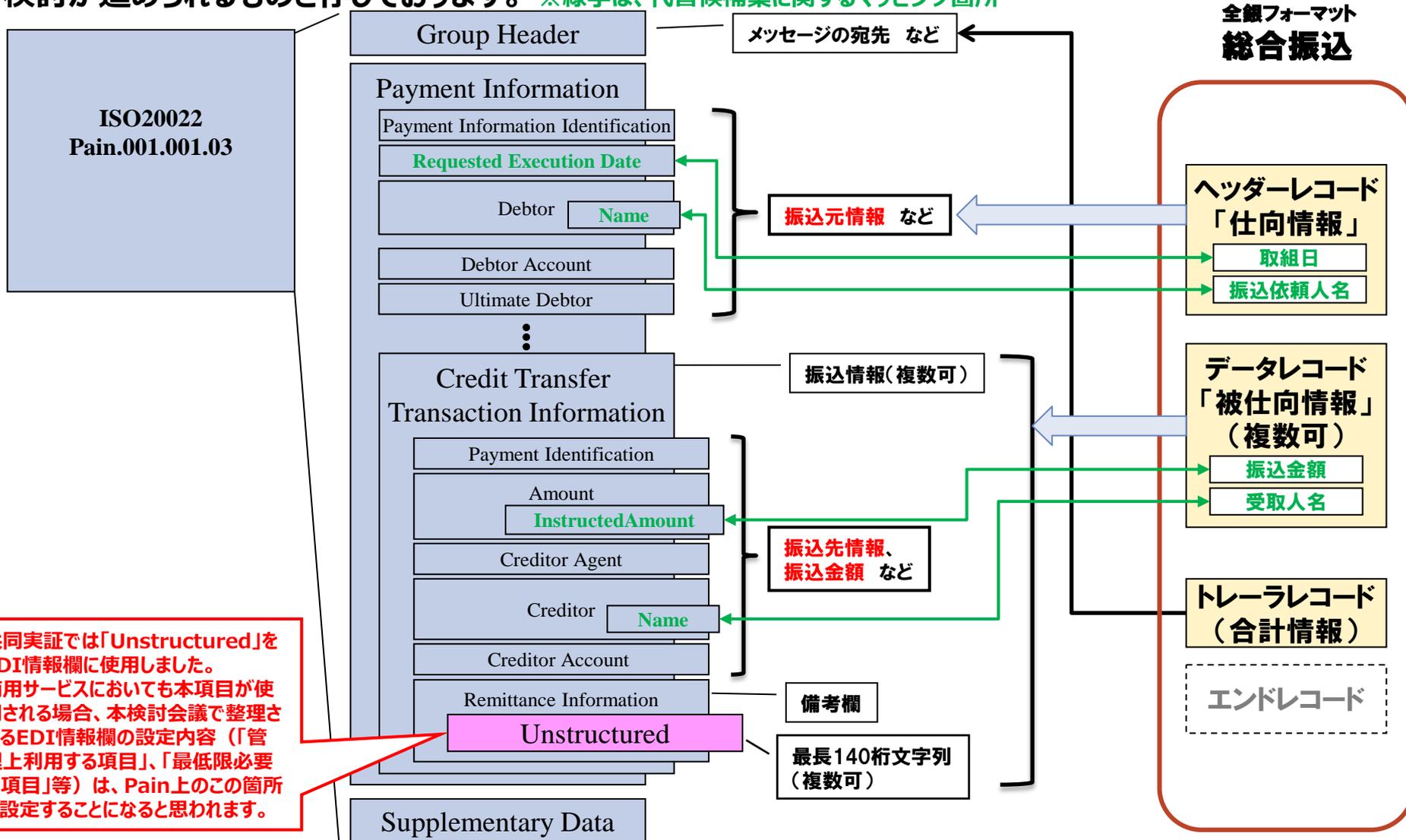
4. 支払日時

受取企業は、「勘定日」、「起算日」、「預入・払出日」を取得可能です。受取企業において、当該情報により「支払日時」の代替が可能であれば、EDI情報欄への「支払日時」の設定は不要とされます。

上記4項目について、代替候補案による代替が可能の場合は、EDI情報欄への設定は不要とされます。また、今回整理案と代替候補案の意味合いが異なる等の理由により、代替不可の場合においても、「○最低限必要な項目」の取扱いとするかについても合わせてご検討をお願いいたします。

(参考) 共同実証時のマッピングについて (Pain⇔総合振込)

2014年度に実施した共同実証においては、下記の内容でXML/ISO20022-Painと総合振込（全銀フォーマット）とのマッピングを行いました。なお、商用サービスにおけるマッピングについては、今後銀行界にて検討が進められるものと存じております。 ※緑字は、代替候補案に関するマッピング箇所



2014年度に実施した共同実証においては、下記の内容でXML/ISO20022-Camtと振込入金通知(全銀フォーマット)とのマッピングを行いました。なお、商用サービスにおけるマッピングについては、今後銀行界にて検討が進められるものと存じております。 ※緑字は、代替候補案に関するマッピング箇所

